



マッシュ-川口の

from New York

「インターネットで曲作りを依頼する」の巻

ハロー-ハワユ-? ニューヨークにもやっと春到来。つめたかった陽射しがまろくなり、そよ風が誘う通りのカフェにもテラスにテーブルやチェアが出現してすっかり春の風景。

今、ダウントウンのカフェでFMラジオのR&B音楽専門局「Jammin105」を聴きながら、この原稿をキーボードで打ってまーす。ステイビー・ワンダーから、ただいまヒット中のブライアン・マックナイトまで、選曲も曲つなぎもKOOLでニクイのよ。

こちらのラジオはFM局だけでも42局以上もあるの。そのうちニューヨーク大やコロンビア大などの人気「学生局」も10局。数々のアーティストを世に出したカレッジチャートも重要な媒体だもんね。FM局はほとんどが音楽中心で、ソフトロックからハードロック、ラテン、クラシック、ジャズ、カントリー、etc. とチョイスもいろいろ。

リアルプレイヤーなどでオーディオ対応してるところも結構あるから、良かったら聴いてみない? FM42局のリストのURLはココ [Jump01](#)。パソコンやってる時とかチューンしちゃうわ。CDも聴くけどノンストップで好きな曲が流れると仕事もはかどるのよ。私はこの業界をラジオからスタートしてるので愛着もあるし、パソコンで聴くのもなかなかよネ^^)

エネルギーが欲しい時や部屋の掃除のときは70's ディスコ。夜中のパソコン作業には「Jazz80」。田園気分でお料理にカントリー。生活に合わせてレッツエンジョイ! 夜のお供「アモール93.1」はスパニッシュのフェロモン局。DJの女性の声がセクシーだね。

ところで、ラジオの放送を聴いていると、局の名前や番組のタイトルを歌う10~20秒ぐらいの短いロゴ音楽が流れるでしょ? これは「ジングル」と呼ばれるもの。最近、私のトコに日本のあるFM局から、ニューヨークのジングル会社を探して良いジングル制作を頼んでもらえないかというコーディネイトの仕事依頼がきた。

さっそくネットでサーチして、いろんなジングル制作会社のホームページをチェック。意外なことにFMのジングル制作会社はテキサスやナッシュビルなど、遠く大陸南部に多かったのよ。@@)

特にナッシュビルは有名アーティストなどのレコーディングで知られる場所。選んだ30ぐらいの会社のホームページでサンプルデモをリアルオーディオで聴いてみた。なかなかおもしろい。グランジ系、ロック系、ラテン系、クラシック系と種類も豊富で出来もピンキリ。良さげな会社にメールでデモCDのオーダーをして郵送してもらおうところから制作作業が始まるぞ。

ところが、大手のジングル制作会社は日本の広告代理店が権利を



e-mail : masshyK@hotmail.com

カワグチ マサヨ

ニューヨーク在住のフリージャーナリスト。テレビやラジオでニューヨークからのレポートを送っている。ほかにコナミの人気ゲーム「ときめきメモリアル」の片桐彩子役(声優)としても活躍。

[Jump](#) masshy.com



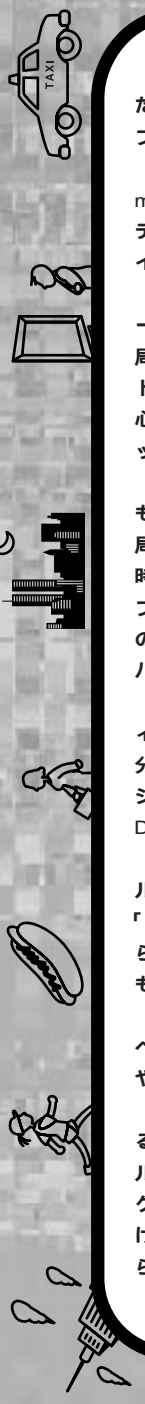
押さえており、独占契約しているところもある。だから、その会社とのコンタクトは日本の代理店を通さざるを得ないわけ、日本のラジオ局としてもコスト増大回避のため、現地に新しいパイプを作りたいらしい。代理店の息がかかってない「できる会社」を発掘するのが私の使命。

- やっと見つけた良い感じの会社は西海岸のFM局のジングルなどを制作していて、なんとオーストラリアにあった! というわけで、デモCDはオーストラリアから10日間かかって到着。うちでコピーを取り、原盤を日本にFEDEXで郵送。その後、FMプロデューサーからの注文メールを英訳し、オーストラリアのジングル会社にメールでオーダーする。100曲近くあるデモのジングルから好みの曲のアレンジを選んで、同じ曲に自分の局のロゴと番組名を入れてもらうのだが、
- 不明な発音やニュアンスは電話で確認したワ。相手は感じのよいオーストラリア人で、何度かメールでやりとりするとすでにフレンドリーな関係。だけど、電話で話しながら発音を確認するといつても「Eight」は「アイト」に「today」は「トゥダイ」になるのが若干不安。「ゴメンネ、僕はオーストラリアのアクセントが強いけど、シンガー達は皆アメリカ発音だからだいじょうぶ。心配しないでネ」と屈託がない。

ここで困ったことに! 通常、いったん制作が完了したところで世界中どここのラジオ局でもMP3で確認してもらい、修正後にCD配送となるのだが、なんと今回の依頼主である日本のFMラジオ局ではMP3が聴けないという! あらら。「えー、そんな!!ダウンロードすればこれこれシカジカ.....」とノウハウを説明しても、NGはNG。確認テープはMDかDATでの郵送で頼んで欲しいとのこと。先方に伝えたら「???'

- で、MP3の説明メールが届いたわ。結局、カセットテープで送ってもらうことにしたけどね。
- この時代にちょっとローテクかも? 社員には必ず使える人が居るはずだけど、決定権を持っているヒトがMP3を聴けないじゃ仕方なし。ふーむ。なかなか難しいモノね。しかし、どんなお願いにも笑顔で対応するのがコーディネイター、カワグチの基本。そこは優しく「了解しました!」とね。ネット時代になって情報がオープンになり、いろんな分野で現地のコーディネイターと直接仕事をする機会が徐々に増えて来ているようね。これも、ひとつのSOHOのE-ビジネスの発展といえるかも。じゃまた。元気でネ。マッシュー:)
- 今月のおすすめサイトはココね!
- ニューヨークのFM42局のリスト
- [Jump01](#) www.nyradioguide.com/freqlist.htm
- 日本の代理店と独占契約しているジングル会社 Thompson Creative
- [Jump02](#) www.thompsoncreative.com
- TM Century, Inc.
- [Jump03](#) www.tmcentury.com

Illust : Kido Satoko





[インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ] ご利用上の注意

このPDFファイルは、株式会社インプレスR&D(株式会社インプレスから分割)が1994年～2006年まで発行した月刊誌『インターネットマガジン』の誌面をPDF化し、「インターネットマガジン バックナンバーアーカイブ」として以下のウェブサイト「All-in-One INTERNET magazine 2.0」で公開しているものです。

<http://i.impressRD.jp/bn>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容(技術解説、URL、団体・企業名、商品名、価格、プレゼント募集、アンケートなど)は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者(執筆者、写真の撮影者、イラストの作成者、編集部など)が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は収録されていない場合があります。
- このファイルやその内容を改変したり、商用を目的として再利用することはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用する際は、出典として媒体名および月号、該当ページ番号、発行元(株式会社インプレス R&D)、コピーライトなどの情報をご明記ください。
- オリジナルの雑誌の発行時点では、株式会社インプレス R&D(当時は株式会社インプレス)と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めましたが、すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接のおよび間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

このファイルに関するお問い合わせ先

株式会社インプレスR&D

All-in-One INTERNET magazine 編集部

im-info@impress.co.jp